

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公表番号】特表2011-514252(P2011-514252A)

【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-018

【出願番号】特願2010-549112(P2010-549112)

【国際特許分類】

B 01 J 38/02 (2006.01)

B 01 J 23/96 (2006.01)

B 01 J 38/60 (2006.01)

C 01 C 1/28 (2006.01)

【F I】

B 01 J 38/02

B 01 J 23/96 Z

B 01 J 38/60

C 01 C 1/28

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月29日(2012.2.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

白金族金属を基礎とする水素化触媒を再生する方法であつて、
前記白金族触媒を基礎とする水素化触媒を、保護ガス雰囲気下で50～600において熱的に再生することを特徴とする方法。

【請求項2】

前記白金族金属を基礎とする水素化触媒を、熱処理後に強酸で処理する請求項1に記載の白金族金属を基礎とする水素化触媒を再生する方法。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の方法により再生した白金族金属を基礎とする水素化触媒を、無機又は有機化合物の水素化に使用する方法。

【請求項4】

無機化合物として一酸化窒素をヒドロキシアンモニウム塩に水素化する、請求項3に記載の再生した白金族金属を基礎とする水素化触媒の使用方法。

【請求項5】

有機化合物としてオレフィン性若しくはアセチレン性不飽和化合物又はカルボン酸、アルデヒド若しくはケトンを水素化する、請求項3に記載の再生した白金族金属を基礎とする水素化触媒の使用方法。